

# おすすめの本 2016

## 座間総合高校図書館



10月27日から11月9日は秋の読書週間です。秋の夜長に読書はいかがですか。以下のリストは先生方のお薦めの本です。図書館にありますのでこの機会に是非読んでみてください。

| 書名                         | 作者名    | 出版社      | 概要   |
|----------------------------|--------|----------|--|
| 君の臍臓をたべたい                  | 住野よる   | 双葉社      | ショッキングな書名ですが、読むと感動あり涙ありのステキな作品。  |
| 羊と鋼の森                      | 宮下奈都   | 文藝春秋     | 読み進めるとタイトルのつけ方のうまさに脱帽。高校生の時にピアノの調律師に会い、自らもピアノ調律師をめざしこつこつ努力していくお話。静かな時間がながれているような小説。  |
| 岸辺のヤービ                     | 梨木香歩   | 福音館書店    | ファンタジーの世界。   |
| カエルの楽園                     | 百田尚樹   | 新潮社      | 平和の意味を考えさせられる。   |
| 春や春                        | 森谷明子   | 光文社      | 高校生が主人公です。   |
| 暗黒のゲルニカ                    | 原田マハ   | 新潮社      | 感動の反戦小説。   |
| 村上春樹雑文集                    | 村上春樹   | 新潮社      | 論説入門として適切。   |
| 京都ざらい                      | 井上章一   | 朝日新聞出版   | 都会と田舎について考えさせられる。  |
| アマゾンの空飛ぶ日本語教師              | 中瀬洋子   | 無明舎出版    | 本校日本語講師の著作。  |
| 私たちはいまどこにいるのか              | 小熊英二   | 毎日新聞社    | 論説入門として適切。   |
| 内山節のローカリズム原論：新しい共同体をデザインする | 内山節    | 農山漁村文化協会 | 論説入門として適切。   |
| 科学者が人間であること                | 中村桂子   | 岩波書店     | 論説入門として適切。   |
| 世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ         | ムヒカ    | 汐文社      | 元ウルグアイの大統領ムヒカ氏がリオデジャネイロで行われた会議において、消費社会にコントロールされている人類に警鐘を鳴らした演説。   |
| 建築家、走る                     | 隈研吾    | 新潮社      | 論説入門として適切。   |
| 風雲児たち                      | みなもと太郎 | リイド社     | 歴史ギャグマンガ。鎖国時代の江戸時代、こんな世界に目を向けていた好奇心のかたまりの日本人がいたことが表わされています。出てくる人物(主人公＝風雲児たち)一人一人の力強さを味わってください。別に幕末編もあります。継続中のマンガです。                                  |
| 流                          | 東山彰良   | 講談社      | 一気にひきこまれるストーリーと文体が魅力だった。   |
| 物語 数学の歴史                   | 加藤     | 中央公論社    | いつも授業で勉強している数学ではありませんが、数学の歴史の物語として読んでください。難しい数式は読まなくていいです。   |
| 陽だまりの彼女                    | 越谷オサム  | 新潮社      | まお(女の子)の無邪気な姿に癒される。  |
| 糞尿博士、世界漫遊記                 | 中村浩    | 文元社      | 面白いだけでなく、自分の視野が広がります。  |
| 峠                          | 司馬遼太郎  | 新潮社      | ジーンと来ることしばしば・・・。   |
| あん                         | ドリアン助川 | ポプラ社     | ハンセン病というのをご存じですか。この本むまで、ただの病の一つだという認識でした。全然違う。人には人の物語があって、「歴史の一部」だとか、一般論から理解すること、「個」を理解し、想うのでは、全然違うんです。この本は小説ですが、登場人物は間違いなく「生きて」いました。「心暖まる悲しいお話」でした。 |
| 空とぶライオン                    | 佐野洋子   | 講談社      | 絵本ですが、読む人によって感じ方が違うし、同じ人が読んでもその時の精神状態によって違った思いが残ります。   |